

令和 5 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者(III類の事業者を除く)
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	アルバック成膜株式会社			
所在地	埼玉県秩父市寺尾2804番地			
事業者番号	0094			
燃料等使用量の原油換算の合計量 (前年度)	6,494	kL/年		
大規模小売店舗面積 <small>(単独で1,500kL未満で延床面積10,000㎡以上の事業所)</small>		㎡		
産業分類名 (中分類)	29 電気機械器具製造業			
分類番号 (中分類)	29			
事業活動の概要	事業内容	事業内容：ハードマスクブランクス <small>の</small> 製造（半導体・フラットパネル） 従業員数：219名 敷地面積：56,026㎡ 延べ床面積：26,105㎡		
	区分	企業		
	前年度	資本金	100	百万円
		従業員数	219	人
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)				

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	009401	アルバック成膜株式会社	6,494
合 計			6,494

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	ア ド レ ス	http://www.ulcoat.co.jp
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合 は別様としてください)	閲 覧 場 所 1	
		所 在 地 1	
		閲 覧 可 能 時 間 1	
		閲 覧 場 所 2	
		所 在 地 2	
		閲 覧 可 能 時 間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名 称 (複数可)	連 絡 先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	総務部 総務課	0494-24-6511	
2			
3			

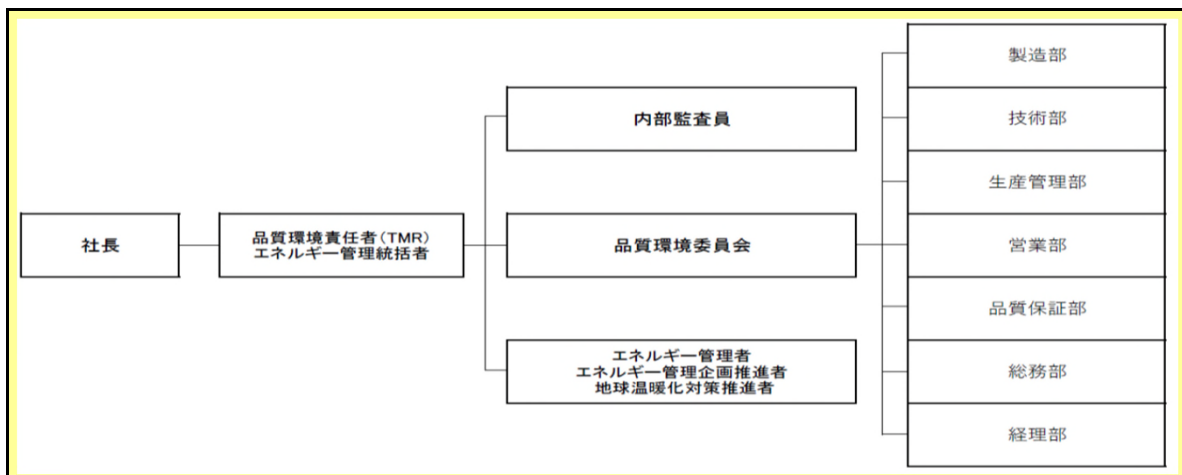
※ 事業者のアドレスとする(個人が特定できるアドレスは記入しないこと)

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

アルバック成膜株式会社は、当社が行う製品の設計・製造・販売のすべての活動において常にお客様のニーズに応える最高水準の品質を提供するとともに、地球環境の保全に全力をあげて取り組みます。

1. 顧客満足度の向上のために、お客様からの声に常に耳を傾け、品質の向上に努めます。
2. 環境保全に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守致します。
3. 品質及び環境マネジメントの重要課題として以下の実現を図ります。
 - ① お客様の要求に応え、かつ期待を越える品質の提供
 - ② 省エネ、環境にやさしい製品の提供
 - ③ 生産性の改善による省エネ化及び省資源化
 - ④ 製造工程及び製品からの有害物質の削減とその継続
 - ⑤ 排出廃棄物のリサイクル化の促進
4. 本方針を全ての従業員及び校正員に周知し、達成のため全員参加で取り組みます
5. 本方針は、一般に公開します。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	12,949	12,891	12,715		
その他ガス					
温室効果ガスの計	12,949	12,891	12,715		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和 5 年度

事業者番号	0094	事業所番号	009401
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度 年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所他の事業所の一部 区分所有部分、テナンI部分等)である事業所は除く
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	アルバック成膜株式会社		
事業所所在地	市区町村	秩父市	
	字・地番	寺尾2804番地	
産業分類名 (中分類)	29 電気機械器具製造業		
分類番号 (中分類)	29		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 ハードマスクフランスの製造 従業員数 219名 敷地面積 56,026㎡	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率を20%とする			
	その他ガス	該当なし			
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	65,988	tCO ₂	事業所区分 第2区分	
	削減目標量 (計画期間合計)	16,497	tCO ₂		

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	6,615	6,587	6,494		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	12,949	12,891	12,715		
前 年 度 比 (%)	—	-0.4	-1.4		
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 ぶ っ 化 い お う				
	三 ぶ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	12,949	12,891	12,715		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	2.0110	1.9633	2.0409		
前 年 度 比 (%)	—	-2.4	4.0		
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
出荷額	百万円/年	6,439.00	6,566.00	6,230.00	

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	1月の外気温が昨年度より平均2℃程低く、クリーンルームの暖房用蒸気使用量が増えた。また、3月に発生したNo.3回収RO設備の膜不良により排水回収設備が復旧までの3週間停止していた。この為、回収水より水温の低い市水を多く使用した事により蒸気の使用量が増え、燃料となるLNG使用量が前年度に比べ14t増加した。
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	夏期の8月と9月の平均気温が令和2年度より2℃低く、冷房負荷の減少により電力使用量は減少したが、冬期の1月2月の平均気温については令和2年度より1.5℃低かった為、クリーンルームの暖房用蒸気使用量が増え、燃料となるLNG使用量が増加した。
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	ボイラーのブローバルブに漏れを発見し補修を実施した。また、クリーンルームについて複数台の空調機で制御している場合は除湿制御と加湿制御を同時に行わない様に設定の見直しを実施し、ボイラーの燃料となるLNGを前年より58t削減できた。 G駐車場、H駐車場にPPA形式で太陽光発電設備554kWを設置した。
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減		

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	16,497	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	16,497	16,497	16,497	16,497	16,497	82,485
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 (C = Σ A-D)						65,988
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))						16,497
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	12,949	12,891	12,715			38,555
	削減率 (F = (A - E) / A)	21.51%	21.86%	22.93%			—
	排出削減量 (G = A - E)	3,548	3,606	3,782			10,936
各年度の排出量の検証		実施済	未実施	未実施			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)	
	区 番	分 号	区 分 名 称					
			大 区 分					中 区 分
1	329900		ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	ボイラー燃料転換 (A重油→LNG)		R1以前	700
2	330200		空気調和設備 換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調におけるチラーの更新及び熱源2次ポンプのインバーター及び変流量制御による電力削減		R1以前	500
3	350600		受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	サブ変電所 高効率トランスの採用		R1以前	50
4	360700		ポンプ、ファン、プロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力 熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー配管統合による台数制御		R1以前	100
5	320400		熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	流末排水回収再利用による熱源回収		R1以前	300
6	310500		一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	生産設備の統廃合		R1以前	500
7	330200		空気調和設備 換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルーム空調タイマー運転		R1以前	100
8	330200		空気調和設備 換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調温度見直し、制御の適正化		R1以前	190
9	380700		照明設備	38_電気の動力 熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新 (LEDへ) 800台		R1以前	25
10	360700		ポンプ、ファン、プロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力 熱等への変換の合理化に関する措置	高効率モーターへ更新		R1以前	10
11	400200		給湯設備	40_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	チラーの更新 (B棟)		R1以前	150
12	490200		その他	49_その他の削減対策	太陽光発電365kw PPA方式 (D・E・G棟)		R1以前	186
13	380700		照明設備	38_電気の動力 熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新 (LEDへ) 500台		R2	15
14	380700		照明設備	38_電気の動力 熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新 (LEDへ) 400台		R3	12
15	490200		その他	49_その他の削減対策	太陽光発電550kw PPA方式 (G駐車場・H駐車場)		R4	280.0